

求められる学校事務職員像 と研修のあり方

独立行政法人
教員研修センター

理事 高口 努

「チーム学校」が求められる背景

- ①新しい時代に求められる資質・能力を育む教育課程を実現するための体制整備
- ②複雑化・多様化した課題を解決するための体制整備
- ③子供と向き合う時間の確保等のための体制整備

→学校教育活動のすべての場面において組織的対応が求められている

次期学習指導要領の目指すもの

これまでの「何を学ぶか」ということだけでなく、
「どのように学ぶか」に加え、

「何ができるようになるか」
という**育成を目指す資質・能力**
を重視している

2030年を見据えた学校教育を通じて 子供たちに育てたい姿

平成28年12月21日中央教育審議会答申「幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善及び必要な方策等について」の記述から

- ①主体的に学びに向かい、必要な情報を判断し、自らの知識を深めて個性や能力を伸ばし、人生を切り開いていくことができる
- ②他者への思いやりを持って多様な人々と協働したりしていくことができる
- ③変化の激しい社会の中でも、試行錯誤しながら問題を解決・発見し、新たな価値を創造できる

次期学習指導要領が重視する 「カリキュラム・マネジメント」

- ① 学校教育目標を踏まえた教科等横断的な視点で、その目標の達成に必要な教育の内容を組織的に配列していくこと
- ② 子供たちの姿や地域の現状等に関する調査や各種データ等に基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立すること
- ③ 教育内容と教育活動に必要な人的・物的資源等を地域等の外部の資源を含めて活用しながら効果的に組み合わせること

教育委員会が現在重視する学校事務職員 の資質・能力

- 1位 正確・迅速な事務処理能力
- 2位 学校事務職員としての志・責任感
- 3位 人事・給与・福利厚生等に関する知識
- 4位 勤務校での同僚・児童生徒との
コミュニケーション力
- 5位 予算執行に関する知識

国立教育政策研究所「義務教育諸学校の学校事務職員の職務の明確化・人事・人材育成に関する調査報告書（2015）」

教育委員会が今後重視する学校事務職員 の資質・能力

- 1位 学校全体を見渡し問題を発見し解決する思考力
- 2位 教育委員会、保護者・地域などと渉外・交渉・連携する力
- 3位 事務室・共同実施組織でチームとして成果を出す力
- 4位 学校教育目標・教育課程を踏まえた仕事を遂行する力
- 5位 危機管理に関する知識

国立教育政策研究所「義務教育諸学校の学校事務職員の職務の明確化・人事・人材育成に関する調査報告書（2015）」

教員研修センターにおいて実施している学校事務職員対象の研修

これまで、学校組織マネジメント研修の中において学校事務職員対象の研修を実施



これからの学校事務職員の果たす役割や責任の重要性を踏まえ、今年度から**教職員等中央研修（事務職員研修）**として実施（年2回実施）

学校の適切な運営、特色ある教育活動の推進のための高度で専門的な知識等を習得させ、各地域の中核として教育に取り組む管理職を育成する

平成28年度 教職員等中央研修 第1回事務職員研修

6月13日(月)	6月14日(火)	6月15日(水)	6月16日(木)	6月17日(金)
	8:30~9:30 ユニットミーティング	8:30~9:30 ユニットミーティング	8:30~9:30 ユニットミーティング	8:30~9:15 ユニットミーティング リフレクション
9:00~9:50 オリエンテーション	9:45~12:15 講義・演習	9:45~12:15 講義・演習	9:45~12:15 講義・演習	9:30~12:30 ケース・スタディ
10:00~10:20 開講式	スクールコンプライアンスと リスクマネジメント	地域とともにある学校を推 進する学校運営事務	求められる事務職員像	学校運営事務の統括者として の学校運営への参画
10:20~11:45 新しい時代の教育 文部科学省				
13:15~15:45 講義 学校ビジョンと戦略	13:30~17:00 講義・演習 財務マネジメントとカリキュ ラム・マネジメント	13:30~17:00 講義・演習 教育委員会と連携した業 務改善	13:30~17:00 実践報告・演習 学校事務職員の実践のフ ロントニア(実践報告)	13:30~15:00 特別講義
16:00~17:00 ユニットミーティング 自校紹介(スクール・トーク)				15:15~15:30 閉講式
リフレクション	リフレクション	リフレクション	リフレクション	

平成28年度 教職員等中央研修 (事務職員研修)

学校経営力の育成

学校経営者の一員としての事務職員

「求められる事務職員像」
「学校事務職員の実践フロンティア」
「学校運営事務の統括者としての学校運営への参画」

学校経営面から
校長とビジョンを共有

「新しい時代の教育」
「学校ビジョンと戦略」
「特別講義」

学校運営事務の
専門性の高度化

「スクールコンプライアンス
とリスクマネジメント」
「財務マネジメントとカリ
キュラム・マネジメント」

学校と地域の
連携・協働の推進

「地域とともにある学校を
推進する学校運営事務」
「教育委員会と連携した
業務改善」

求められる学校事務職員像とは

チームとしての学校の一員として、
「子供の姿で学校のことが語れる事務職員」



- ・データに基づいた学校の現状を分析できる事務職員
- ・自校の課題を踏まえた次なる改善策を教員とともに考えられる事務職員
- ・地域の実情を熟知して地域の人々と連携・協働ができる事務職員
- ・校長を学校経営面から補佐できる高度な専門性を持った事務職員
- ・学校の教育目標の趣旨（子供達にどのような資質・能力を身に付けさせるか）を正確に理解し、それを学校事務の側面から具現化できる事務職員

学校事務職員研修のあり方

求められる具体的な学校事務職員像を踏まえた
研修の実施が必要



- ・学校経営者の一員として、学校運営事務の高度な専門性を身に付けさせ、学校経営面から校長とビジョンを共有できる研修
- ・現在の学校教育の大きな方向性や重要ポイントをきちんと理解する研修
- ・地域との連携・協働が積極的にできる力を育成する研修
- ・自校の有する課題を持ち寄り協議する課題解決型の実践的な研修の実施